

【重要！】 必ずご確認ください

**PCカスタマイズサービス
～HDDマスターコピーサービス～
マスターPC送付状&チェックシート**

下記につきまして**必ず全ての項目**をご記入いただき、マスターPCに同梱し共に下記宛先までご送付ください。

注意

- ・マスターPCはNEC担当営業より特にご連絡がない場合は、本体納品予定日の7営業日前まで必着で
ご送付ください。
注文台数が多い場合やその他の理由により、7営業日前より早期の送付をご連絡する場合がありますので、ご了承ください。
- ・マスターPCのBIOS設定は、以下の場合を除き展開PCには反映されないため、PC出荷状態のBIOS
設定での展開を考慮したマスターPCの構築をお願いいたします。
 - 「BIOS設定変更サービス」を併せて指定している場合
 - 「マスターPC」のBIOS設定の「Boot Mode」の設定(LegacyまたはUEFI)が「展開PC」の同項目と異なる場合
(VersaPro/VersaPro Jシリーズ、およびタイプMEの場合)
 - 「マスターPC」のBIOS設定の「OS Optimized Defaults」の設定(DisabledまたはEnabled)が「展開PC」の同項目と
異なる場合 (タイプMB、ML、MGの場合)

1. お客様名: _____

2. HDDマスターコピーサービス(PC-CM-A051もしくはPC-CM-A042)発注時のCVコード:

CV _ _ _ _ _

3. 本体型番: PC- _ _ _ _ _

スマートセレクション型番[15桁]または、フリーセレクションフレームモデル型番[12桁]をご記入下さい。

製造番号[9桁]: _ _ _ _ _

4. 送付品リスト

工場出荷時の全品を送付

一部を抜き取って送付(送付物にチェックを入れてください。)

PC本体 電源ケーブル(ACアダプタ含む) マウス キーボード(Mateのみ)

その他付属品 _____ _____ _____ _____
 _____ _____ _____ _____

5. 送付事前チェック項目 (1/2)

[BIOS関連]

以下のチェックに基づき、以下のBIOSの設定値が出荷時状態であることを確認済です。

「スーパーバイザパスワード/ユーザパスワード」¹は設定されておりません(解除しました)

HDDパスワードは設定されておりません(解除しました)

TPM(セキュリティチップ)の設定を行っておりません(解除しました)

SATAモード(IDE/AHCI/RAID)の設定変更を行っておりません

(注意:SATAモードは変更しないでください)

次項の「ブート関連項目」以外のBIOSの設定値が出荷時状態である

¹ タイプMB、ML、MGの場合は「アドミニストレータパスワード/パワーオンパスワード」に読み替えてください。

5 . 送付事前チェック項目 (2/2)

[BIOS 関連 ブート関連項目]

以下のチェックに基づき、以下の BIOS の設定値が本サービス指定の設定であることを確認済です。

【VersaPro/VersaPro J シリーズ、およびタイプ ME の場合】

BIOS の起動順序 (Boot メニュー) が、以下のデバイスの起動順位 (「Hard Disk」(または HDD)より光学ドライブが上位) となっていることを確認しました(*1)。

「CD/DVD」 「USB CD/DVD」または「USB ODD」 「USB Floppy」または「USB FDD」

BIOS の「Boot メニュー」で「Fast Boot」が Disabled になっていることを確認しました。(*1)(*2)

*1 本設定を確認頂いていない場合に、本サービス適用作業が実施できない場合がありますのでご注意ください。その際は、マスターPC の再構築をご依頼させて頂く場合があります。

*2:BIOS に本設定が存在するモデルのみ確認してください。

【タイプ MB、ML、MG の場合】

BIOS の起動順序 (Startup メニューの Primary Boot Sequence)の一番目の起動順位が、「SATA2」(CD レスモデルの場合は「USB CDRROM」となっていることを確認しました(*3)。

*3 本設定を確認頂いていない場合に、本サービス適用作業が実施できない場合がありますのでご注意ください。その際は、マスターPC の再構築をご依頼させて頂く場合があります。

[HDD 暗号化関連]

HDD を暗号化していません。

[System Preparation (Sysprep)関連] 以下 3 項目で該当する項目にレ点を記入してください。

本マスターPC は Sysprep 未適用です。

本マスターPC は Sysprep を適用して HDD コピーを行っても問題が無いことを検証済みです。

本マスターPC は Sysprep を 1 回のみ適用済みです。

モデルにより異なりますが工場出荷時の状態で初回起動時 1 回から 2 回 Sysprep は使用されます。

Sysprep は 3 回まで使用できます (Windows 8 を除く) が、上記の理由のためマスター完成後、Sysprep 適用前のハードディスク内イメージをバックアップして保管する事を強く推奨します。

[マスターPC 内の情報・設定関連]

本マスターPC は、WORKGROUP 環境で作成しました (ドメインには参加していません)。

本マスターPC は、送付前の HDD 環境のバックアップを作成し保管しています。

マスターPC には、本サービスの実施に不要な情報・設定等を導入しておりません。

(不要な情報や設定は削除しました)

セキュリティチップ ユーティリティをインストールして設定していません。

以下は、PC に「Intel(R) Smart Response Technology」が搭載されているモデルのチェック項目です。

本マスターPC は、Intel(R) Smart Response Technology を設定しておりません。

(PC 添付のマニュアル「活用ガイド」に記載されている「インテル(R) スマート・レスポンス・テクノロジーの解除とリセット」を実施しました)

以 上

*** 本ページ以降はマスターPCに添付していただく必要はありません。**

【マスターPC 送付先】

〒992-8520

山形県米沢市下花沢二丁目 6 番 80 号

NEC パーソナルコンピュータ(株) 米沢事業場

生産事業部 需給計画部 カスタマイズ担当マネージャ宛

電話番号 0238-24-1522 (ご発送の物流業者と配送番号を連絡願います)

物流確認用の電話番号のため、サービスに関する問い合わせには回答できませんので、ご注意下さい

「HDD マスターコピーサービス(展開 PC1 台目用)(PC-CM-A051)」もしくは「HDD マスターコピーサービス 初回マスター用(PC-CM-A042)」は、お客様からマスターPCをお預かりし、弊社生産工場にて量産させていただくサービスとなります。従いまして、弊社生産工場に送付いただくマスターPCは、お客様にて「Sysprep を適用して量産しても問題無いか、検証できたものである」必要があります。

以下の例を参考としていただき、マスターPCを送付いただく前に Sysprep 適用後ターゲットPCに問題なくコピーできるか、事前に検証していただくことを強く推奨します。

工場にて、量産前に確認コピーを実施させていただきますが、稀に Sysprep 適用の影響でターゲットPCの初回起動が正常にできないケースが発生しています。その場合、マスターPCを返送し作り直していただくことになり、納期も遅れてしまいますので、事前確認のほど、よろしくお願いします。

【事前に準備するもの】

・CD ブート可能なバックアップソフト(USB ハードディスクを認識可能なもの、対象のOSをバックアップ可能なもの)

・USB ハードディスク(十分な空き容量があるもの)

【参考手順】

Sysprep 適用中や展開後にエラーが発生しないマスターPCであることを確認する為に、以下の方法を参考に事前検証頂いた上で、マスターPCを送付頂くことをお勧めいたします。

BIOS の設定の適切な変更

HDD マスターコピーサービスは一部例外を除き、BIOS の設定は展開 PC に反映されません。マスターPCの評価の際は、以下の点を十分ご理解の上、十分な評価を実施してください。

(1) BIOS 設定の初期化

BIOS の設定は、一旦初期状態に戻してから、マスターPCを作成頂くことをお勧めいたします。初期化の後、(2)以降を確認・設定してください。

(2) ブート順位の変更 (Windows 8 プリインストールモデル²の場合)

マスターPCとして Windows 8 プリインストールモデルをご利用の場合(Windows 7 等に入れ替えてご利用の場合も含みます)、デフォルトの設定は HDD や SDD を優先起動としているため、マスターPCの BIOS のブート順位を以下に変更してください。

【VersaPro/VersaPro J シリーズ、およびタイプ ME の場合】

・BIOS の「Boot メニュー」にて起動順位を 「CD/DVD」 「USB CD/DVD」または「USB ODD」 「USB Floppy」または「USB FDD」を HDD より前に起動するよう設定

【タイプ MB、ML、MG の場合】

・BIOS の「Startup メニュー」の「Primary Boot Sequence」にて一番目の起動順位を「SATA 2」に変更(CD レスモデルの場合は「USB CDROM」)

なお、展開 PC に本設定は反映されません。(展開先 PC のデフォルト値または「BIOS 設定変更サービス」で指定した設定となります)

(3) 「Boot Mode」の設定

通常の場合は、デフォルト設定(Windows 8 プリインストールモデル:UEFI、それ以外のモデル:Legacy)で問題ないと考えますが、マスターPCおよび展開 PC の OS をプリインストール OS とは異なる OS に入れ替える前提の場合等は、必要に応じて以下の変更を実施してください。

² 本資料で Windows 8 プリインストールモデルと表記する場合は、Windows 8 Pro/Windows 8.1 Pro/Windows 8.1 Pro Update モデルを意味します。

【VersaPro/VersaPro J シリーズ、およびタイプ ME の場合】

- ・ BIOS の「Boot メニュー」の Boot Mode を「UEFI」から「Legacy」に変更
(Windows 8 プリインストールモデルに、Windows 7(32 ビット版)を導入してマスターPC を構築する
場合がこれに相当します。)

または

- ・ BIOS の「Boot メニュー」の Boot Mode を「Legacy」から「UEFI」に変更
(Windows 7 モデルに対し、Windows 8(64 ビット版)や Windows 7(64 ビット版)等の UEFI 対応の
OS を導入する場合で、かつパーティション構成に GPT(GUID パーティションテーブル)を使用す
る場合がこれに相当します)

なお、本設定はマスターPC の設定に関わらず、工場から出荷される展開 PC は以下の設定となります。

- ・ マスターPC の「Boot Mode」が UEFI で構築されている場合:UEFI

または

- ・ マスターPC の「Boot Mode」が Legacy で構築されている場合:Legacy

【タイプ MB、ML、MG の場合】

- ・ BIOS の「Exit メニュー」の「OS Optimized Default」を「Enabled」から「Disabled」に変更
(Windows 8 プリインストールモデルに、Windows 7(32 ビット版)を導入してマスターPC を構築
する場合がこれに相当します。)

または

- ・ BIOS の「Exit メニュー」の「OS Optimized Default」を「Disabled」から「Enabled」に変更
(Windows 7 モデルに対し、Windows 8(64 ビット版)や Windows 7(64 ビット版)等の UEFI 対応の
OS を導入する場合で、かつパーティション構成に GPT(GUID パーティションテーブル)を使用す
る場合がこれに相当します)

(4) 「Fast Boot」の設定 (Windows 8 プリインストールモデルで、かつ本項目が存在するモデル)

マスターPC に本項目が存在する場合のみ、デフォルトでは Enabled に設定されているため、Disabled
に設定を変更してください。

- ・ BIOS の「Boot メニュー」の Fast Boot を「Enabled」から [Disabled]に変更 (本項目がある場
合)

なお、本設定はマスターPC の設定に関わらず、工場から出荷される展開 PC は以下の設定となります。

- ・ マスターPC の「Boot Mode」が UEFI で構築されている場合:Enabled

または

- ・ マスターPC の「Boot Mode」が Legacy で構築されている場合:Disabled

(5) 「BIOS 設定変更サービス」を併用している場合

「BIOS 設定変更サービス」を併用し BIOS 設定を指定している場合は、マスターPC 構築後(下記 の後)
に、BIOS 設定を変更して評価を実施してください。

マスターPC を構築する

マスターPC の構築は、出荷時状態で実施頂くか、もしくは再セットアップディスクを用いて再セットアッ
プを実施頂くことを強くお勧めいたします(*1)。

出荷時の電源投入後もしくは再セットアップを実施後、ドメインには参加せずワークグループ環境で各ア
プリケーションをインストールします。事前に各アプリケーションの販売元/開発元へ「マスターPC の HDD
イメージによる展開が可能である」ことをご確認ください。

また、OS やアプリケーション等に対して提供元から公開されている修正プログラムを必要に応じて適用し
てください(*2)。

*1:Windows 8 プリインストールモデルでは「PC のリフレッシュ」「PC のリセット」という再セットアップ
方法が提供されておりますが、「PC のリフレッシュ」はマスターPC 構築には利用できませんのでご留意
ください。またマスターPC 構築の際は、再セットアップ媒体(DVD-ROM 媒体)の購入頂くことを強く推奨
致します。

*2:Microsoft 社より、マスターPC 特有のトラブルに対する修正プログラムが提供されている場合がありま
す。以下 4 例を紹介しますが、これは PC 単体での動作検証等では発覚しないため、マスター作成の際
には Microsoft 社サポートサイト等の十分なご確認をお願いいたします。

- ・ Windows Vista をマスターPC の OS とした場合、展開後に Windows Update が利用できない場合等の問題
が発生する可能性があるため、Microsoft 社サポートサイトの文書番号:2470478 にて提供されている修

正プログラムの適用を推奨致します。(http://support.microsoft.com/kb/2470478/ja)

- Service Pack が適用されていないボリュームライセンス版の Windows 7 をマスター PC の OS とした場合、展開後に NX PAD ドライバが正常に適用できない場合があるため、Service Pack 1 の適用、もしくは Microsoft 社サポートサイトの文書番号:974624 にて提供されている修正プログラムの適用を推奨いたします。(http://support.microsoft.com/kb/974624/ja)
- Service Pack が適用されていない Windows 7 をマスター PC の OS とした場合、展開後に Windows Update ができない等の問題が発生する可能性があるため、Windows 7 に Service Pack 1 を適用いただくか、Microsoft 社サポートサイトの文書番号:982018 にて提供されている修正プログラムの適用を推奨いたします。(http://support.microsoft.com/kb/982018)
- Service Pack が適用されていない Windows 7 をマスター PC の OS とした場合、構築したマスター PC に 8KB を越えるレジストリキーが存在すると、展開後に「Windows はシステムの構成を完了できませんでした」というエラーより展開できない場合があるため、Windows 7 に Service Pack 1 を適用いただくか、Microsoft 社サポートサイトの文書番号: 981542 にて提供されている修正プログラムを適用したマスター PC の構築を推奨いたします。(http://support.microsoft.com/kb/981542)

なお、Windows のバージョンやサービスパック毎に Sysprep の仕様や制限事項が異なる場合があります。作成前に Microsoft 社のサポートサイト(http://support.microsoft.com/?ln=ja)等にて、ご確認ください。(弊社、ビジネス PC 情報発信サイトの PC カスタマイズサービスの注意事項も、併せてご確認ください)

「BIOS 設定変更サービス」を併せて指定する場合には、マスター PC 構築後、BIOS 設定変更サービスで指定する設定に BIOS を変更してマスター PC の評価を実施してください。

マスター PC に「Intel(R) Smart Response Technology」が搭載されているモデルをご利用の際には、この機能は無効のままマスター PC を構築してください。(本サービスでは本機能の設定は展開できません) また、設定を実施した場合は、PC 添付のマニュアル「活用ガイド」の「インテル(R) スマート・レスポンス・テクノロジーの解除とリセット」の手順に従って、本機能の解除を実施してください。なお、本機能は、工場出荷時点では未設定です。

Sysprep 適用前 PC をバックアップする(*1)

Sysprep の適用可能な回数には制限がある(*2)ため、後述の動作確認にて問題があった場合には、ここで取得したバックアップ内容(Sysprep 前の内容)をリストア頂き、マスター PC の修正をお願いいたします。また、「NEC にて Sysprep を適用することを希望する」を選択された場合には、動作確認後、ここで取得した HDD 内容をリストアして下さい。

*1: マスター PC の構築作業では、Sysprep の動作により適切な設定の展開等ができない場合が少なからず発生するため、この時点でバックアップをきちんと取得頂くことをお勧め致します。

*2: 本資料末の「ご参考 Windows 7/Windows Vista の Sysprep の適用可能回数の確認方法について」も併せてご確認ください。なお Windows 8 には本制限はありません。

Sysprep を実行する

(a) 「お客さまにて Sysprep 適用済のマスター PC を用意する」を指定頂く場合

マスター PC にローカルの管理者権限のあるユーザでログオンした後、Sysprep コマンドを実行します。Sysprep の実行方法や、オプション指定に関しては、本資料末の「Sysprep について」に記載の Microsoft 社の各種ドキュメントへのリンク等を参照の上、設定して下さい。
なお、次項でバックアップを取得するため、「シャットダウン」オプションを指定頂くことをお勧め致します。

(b) 「NEC にて Sysprep を適用することを希望する」を指定頂く場合

この指定の場合には、お客様にて、弊社で Sysprep を適用する際と同様の設定での動作確認を行って頂く必要があります。

マスター PC にローカルの管理者権限のあるユーザでログオンした後、コマンドプロンプトより Sysprep コマンドを実行して下さい。

- Windows 8、Windows 7、Windows Vista の場合

sysprep.exe /generalize /oobe /shutdown /unattend:unattend.xml

unattend.xml の設定内容

- ・ PnP デバイスドライバを削除しない。
- ・ 言語および国地域の選択：日本。
- ・ 日付と時刻の設定：東京。

unattend.xml (応答ファイル)は別途お客様にて作成して頂く必要があります。詳細は、本資料末の「Windows 7 の Sysprep について」に記載の Microsoft 社のツールを入手し、そのドキュメントを参照願います。

上記プログラムを実行するとマスターPC は自動的にシャットダウンします。
正常にシャットダウンされた場合、Sysprep 適用済みとなります。

Sysprep 適用後 PC をバックアップする

「お客さまにて Sysprep 適用済のマスターPC を用意する」を選択されている場合は、動作確認のため、ここで再度バックアップを実施してください。

Sysprep 後の動作確認を実施する

マスターPC の電源を投入し、初回セットアップを実施した後、マスターPC の内容(設定等)が適切に展開されている(*1*2)か、また各アプリケーションが正常に動作するかの検証をお願いします。

*1:Windows 8/Windows 7/Windows Vista では、以下の様に、Sysprep の動作が Windows XP とはデフォルトの仕様が異なる点があります。

- ・ マスター作成時に組み込まれているドライバが Sysprep 適用後に削除される
- ・ ユーザープロファイルがコピーされない
- ・ C ドライブ(システムドライブ)以外のドライブ割り当てが変更される
- ・ 自動ログオン設定が動作しない など

このような事象は、お客様にて、マスターPC の作成方法や Sysprep のオプション指定等で予め回避頂く必要があります。本資料末の「Sysprep について」に記載しております Microsoft 社の各種ドキュメントを参照の上、マスターPC の構築・修正をお願い致します。

*2:Windows 8 モデルで Sysprep の検証を実施する際、マスターPC と展開 PC で BIOS の「Boot Mode」が異なると以下の現象となりますのでご留意願います。

【VersaPro/VersaPro J シリーズ、およびタイプ ME の場合】

- ・ BIOS の「Boot Mode」が UEFI の設定でマスターPC を作成し、「Boot Mode」が Legacy の PC へ展開すると「Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key」と表示され OS が起動しない。
- ・ BIOS の「Boot Mode」が Legacy の設定でマスターPC を作成し、「Boot Mode」が UEFI の PC へ展開すると BIOS 起動メニューが表示され、OS が起動しない。

【タイプ MB、ML、MG の場合】

- ・ BIOS の「Exit」メニューの「OS Optimized Default」がマスターPC と展開先 PC で異なる場合、(ネットワークブートに失敗し)再起動を繰り返す。

マスターPC の HDD 内容をリストアする (マスターPC を工場への送付ができる状態にする)

動作検証後、マスターPC にバックアップした HDD 内容をリストアします。

- ・「お客さまにて Sysprep 適用済のマスターPC を用意する」を選択された場合、 のバックアップ内容をマスターPC にリストアしてください。
- ・「NEC にて Sysprep を適用することを希望する」を選択された場合、 のバックアップ内容をリストアしてください。リストア後、マスターPC が問題なく起動する事を確認の上、そのままシャットダウンを実施し、マスターPC の電源が完全に OFF になったことを確認してください。

送付事前チェック実施

マスターPC 送付状 & チェックシートの「送付事前チェック項目」を確認いただき、マスターPC が送付可能な状態となっていることをご確認いただきます。

工場への送付

マスターPC に、 にて確認頂いた「マスターPC 送付状 & チェックシート」を添えて、工場への送付をお願い

いします。

以 上

【ご参考】 Sysprep について

Sysprep とは Microsoft 社より提供されている System Preparation ツールを指し、OS のイメージング（複製）を行う際に、主としてユーザやグループ、コンピュータを識別する SID (SecurityID) の重複を避ける為の準備ツールとして使用されます。**Sysprep は使用者の責任に置いて利用可能な未サポートのツールであり、NEC からのサポートはありません。**

Sysprep は、複数の同一なハードウェア構成の PC に Windows を展開する必要がある場合に、1 台の PC 上でマスター用の初回セットアップを行った後、Sysprep を実行することで、複製用の環境を用意できます。

複製用の環境をイメージング（複製）することにより、セットアップ先の PC が初めて再起動したとき、Sysprep によって、各 PC に一意のセキュリティ ID (SID) が割り当てられます。

Sysprep については下記を参照してください。

Windows 8 の場合

システム準備(Sysprep)テクニカルリファレンス

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/hh825209.aspx>

Windows 7 の場合

Sysprep テクニカルリファレンス

[http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/dd744263\(WS.10\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/dd744263(WS.10).aspx)

本サービス内で、「NEC にて Sysprep 適用を希望する」を選択された場合、各 OS での Sysprep の適用内容は下記になります。弊社での適用は SID の変更のみを目的としており、Sysprep 適用で発生する諸々の現象は事前にお客様にて Microsoft 社サイトをご確認ください。

Windows 8、Windows 7、Windows Vista の場合

sysprep.exe /generalize /oobe /shutdown /unattend:unattend.xml の実施。

unattend.xml の設定内容

- ・ PnP デバイスドライバを削除しない。
- ・ 言語および国地域の選択：日本。
- ・ 日付と時刻の設定：東京。

本サービスでは「初回セットアップを行う」または「初回セットアップを行わない」を選択することが出来ます。「初回セットアップを行う」を選択された場合、以下の弊社既定値でセットアップを完了させていただきます。

- | | |
|------------|----------------|
| ・ ネットワーク設定 | : (未設定) |
| ・ ユーザ名 | : NEC_PCUSER |
| ・ パスワード | : なし (空欄) |
| ・ コンピュータ名 | : COMPUTERNAME |

Sysprep 前に登録する管理者ユーザー名に NEC_PCUSER を使用しないでください。

(同名のユーザで初回セットアップが出来ない為)

また、Sysprep を適用することによって起こる現象が報告されています。

Sysprep をマスター PC に適用するにあたっては下記サイトや MS のサイト (<http://www.microsoft.com/japan/>) で "Sysprep" を検索して表示される情報をお読みになり、Sysprep の役目/影響などを十分にご理解いただくことをお奨めいたします。

Sysprep の機能と既知の問題について

<http://support.microsoft.com/kb/928386/ja>

【ご参考】 Windows 8 / Windows 7 の Sysprep について

Windows 8 や Windows 7 の Sysprep は、Windows XP とは異なる点が多い為、Sysprep をマスターPC に適用するにあたって Windows 7 の Windows 自動インストールキット (Windows AIK) の入手と、添付ドキュメントの確認が必須となります。

また、Sysprep の実施するには設定を指示する「応答ファイル」が必要であり、この応答ファイル作成ツールがツールキット³に含まれています。

Windows 8 の場合に必要なツールキット : Windows アセスメント&デプロイメントキット

Windows 7 の場合に必要なツールキット : Windows 自動インストールキット

【入手方法】

Microsoft 社ダウンロードセンター

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/default.aspx>

キーワードで AIK、または ADK を検索

「Windows 7 用の Windows 自動インストールキット (AIK)」

または

「Windows 8 用の Windows アセスメント&デプロイメントキット」を選択

また、Windows 8 や Windows 7 での展開テクノロジーの概要を把握するために、Microsoft 社の以下のページをご参照頂くことをお奨めいたします。

Windows 8 の配布と展開

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/windows/hh974336>

Windows 7 の導入と展開

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/windows/dd641427>

上記ツールキットのドキュメントの他にも、Microsoft 社のサポートオンラインで "sysprep" を検索して表示される情報をお読みになり、Sysprep の役目/影響などを十分にご理解いただくことをお奨めいたします。

Microsoft 社サポート

<http://support.microsoft.com/?ln=ja>

キーワードに「sysprep」「Windows 7」「Windows 8」等を指定

³自動応答ファイルを作成する為のツール (Windows システムイメージマネージャ) を利用するには Windows OS イメージが必要になります。これはボリュームライセンス OS の場合、ライセンス OS 媒体内のイメージをご利用頂くか、もしくは Windows AIK の ImageX ツール/Windows ADK の DISM にて作成して頂く必要があります。詳細は、ツールキットのドキュメントをご覧ください。

【ご参考】 Windows 7/Windows Vista の Sysprep の適用可能回数の確認方法について

Windows ライセンス認証タイマーをリセットできる回数を確認するには、コマンド プロンプトを開き、「slmgr /dlv」コマンドを実行します。しばらくすると、Windows スクリプト ホストのウィンドウが開き、Windows ライセンス認証タイマーの現在の状態が表示されます。表示された画面（下から 2 行目）に以下のように表示されます。

例) Sysprep 適用可能回数が残り 2 回 の場合
残りの Windows 猶予期限リセット可能回数: 2

併せて、Microsoft 社の以下の Web ページをご確認下さい。

Microsoft 社 T e c h N e t オンライン
ライセンス認証タイマーをリセットできる回数を確認する
[http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ee758033\(WS.10\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ee758033(WS.10).aspx)